

県内の高校生らが制作した超小型人工衛星「らいちょう」を 国際宇宙ステーションから衛星軌道へ放出

【概要】

岐阜大学工学部附属宇宙研究利用推進センターを中心に、県内の工業高校や企業が協力して制作し、8月24日にロケットで宇宙へ打ち上げられた超小型人工衛星「らいちょう（GHS-01）」が、9月19日には国際宇宙ステーション（ISS）日本棟「きぼう」から宇宙空間へ放出されました。

当日は放出の瞬間を見守るライブビューイングイベントが開催され、開発に関わった高校生や本学関係者、江崎 禎英 知事をはじめとする岐阜県関係者、協力企業の皆さんなど岐阜県庁20階の清流ロビーに集まった約70名のほか、リモートで参加した、はやぶさ2プロジェクトチームのプロジェクトマネージャ 津田 雄一 教授（宇宙航空研究開発機構、JAXA）、三上 建治 参事官（内閣府 宇宙開発戦略推進事務局）、長崎県の人工衛星プロジェクトメンバーらはJAXAのYouTube公式チャンネル「JAXA Channel」で、ISSからリアルタイムで配信される映像を通じて「らいちょう」の宇宙への放出を見守りました。

放出時には清流ロビーからもISSへカウントダウンを送り、「らいちょう」が無事に宇宙空間へ放出された映像が流れると、会場は拍手と歓声に包まれました。吉田学長は「放出が成功した瞬間は本当に感動しました。制作に携わった皆さんの夢が実現し、また次の世代の夢へと繋がっていくことを嬉しく思います」と喜びの言葉を述べました。

「らいちょう」は、今後、宇宙からの地球の撮影、音声通信を通じた国際交流などのミッションを行う予定で、引き続き、県内の高校生らが携わっていきます。



吉田学長



江崎知事

県内の高校生らが制作した超小型人工衛星「らいちょう」を
国際宇宙ステーションから衛星軌道へ放出



放出の瞬間の様子



放出成功に沸く高校生

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2025/9/20	岐阜	らいちょう、宇宙に放出 超小型人工衛星 開発の高校生ら見守る ～岐阜大を中心に県内の工業高校や企業が開発した超小型人工衛星「らいちょう」～
2025/9/20	中日	きぼうから宇宙空間に 県内高校生ら製作 人工衛星 現役生、卒業生ら70人 中継見守る ～県と岐阜大が企画した「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」～
2025/10/1	読売	高校生の衛生 宇宙に一步 ISSから放出 運用開始へ ～宇宙研究利用推進センター長 宮坂武志 教授～